

# 一般質問

**教育委員長** 特色ある社会教育活動として、寺子屋・子ども会育成等の健全育成活動、世代間交流や体験活動、公民館活動・教育振興運動・スポーツ少年団育成活動等広く展開されてきております。今後は地区センター活動として、地域間の連携を強めこれら活動の一層の充実をはかっていきます。社会教育指導員等の活用を中心に、各地域・団体活動の活性化に力を入れ、「活動交付金」の活用を検討させ、地域ぐるみで地域の教育力の育成をはかり、社会教育の充実

**質問** 特色ある社会教育活動を地区センター活動の場で、どのように受け継ぎ地域の教育力育成を推進していくか伺います。



0.4%支援事業で実施し、好評の「田んぼアート」

**市長** 様々な信頼関係などを考慮すると、繰り延べはできません。

**質問** いま私たち日本共産党は、住民アンケートを実施しており、千百名を超す市民のみなさんから回答が寄せられています。その中で、くらし向きが「苦しくなった」とお答えになった方は60%で、「良くなった」は2%弱です。また、「国民健康保険税が高すぎる」と答えた方は70%もいます。さらにいま市政で力を入れて欲しいものは、「雇用・仕事の確保」、「高齢者福祉」、「医療制度」の順です。このような市民の生活実態を考えたとき、競馬組合の借金の肩代わりのために県から借り入れた57億5千万円の借金返済を繰り延べし、国保の引上げを抑制する財源にすべきと考えます。この財源を活用するならば、一人当たり約7500円、4人家族で約3万円の引き下げが可能です。伺います。



おいかわ よしお  
及川 善男

○競馬に係る県からの借金返済を繰り延べし、国保税抑制の財源等について

に努力していきます。

**質問** 奥州市発注の公共工事において「希望する工事種別」を3つまでに制限するというのですが、3つに限定して数少ない公共工事を出来るだけ多くの市内業者に行



さとう くにお  
佐藤 邦夫

○平成23・24年度市営建設工事入札参加資格審査申請について  
○統一地方選挙について

**市長** 使い勝手の良い制度についてはさらに研究し、予算の増額は利用状況を見ながら検討します。

**質問** 住宅リフォーム助成事業は、仕事起こし・雇用拡大につながります。予算を大幅に増額し、制度を使い勝手の良いものに見直すべきと考えますが伺います。

**市長** 誘致企業への水道料金の補助は、雇用拡大のうえでも重要であり、見直す考えはありません。

**質問** 来年度予算に、工業団地の誘致企業への水道料補助金約1億2千万円が計上されています。この財源を活用するならば、例えば年収400万円の方を30人新たに雇用することができそうです。補助金制度を見直すべきと考えますが伺います。

**市長** 奥州市が合併してもポスター掲示場の設置場所、数とも従来と同じなので、各地区と協議しながら場所、数とも見直しを行います。4月の統一地方選挙では、ポスター掲示場646ヶ所のもの

**質問** 以前に選挙の際の選挙用ポスター掲示板が多すぎはしないかという提案に対して、各区の区長さんや振興会と協議しながら、削減に努力されていることに敬意を表しますが、実態はどのようになっているか伺います。

**市長** 全国的な経済不況や社会の状況変化に伴い、市の発注する工事は年々減少しているのが実態です。したがって出来るだけ多くの業者に少ない公共事業に携わってほしいと思い、とりあえず3つの種別に限定した申請受付をすることにしたのでご理解をいただきたいと思っています。

き渡るように、という考えのようですが、業者全般に随意契約をするか、談合でもしない限り、多くの業者に広く工事が均等に行き渡るということはありえません。むしろ企業努力や奥州市内の雇用の面で大いに頑張っている業者は死活問題であり、したがって工事種別を3つに限定すべきではないと考えますが伺います。